

【日新化工株式会社】

CFRPを活用したリチウムイオンバッテリーコントローラー向け樹脂筐体の軽量化品の開発

開発のねらい

現在、EV車に搭載されているリチウムイオンバッテリーコントローラーの筐体には、電磁波ノイズから基盤を守る目的で鉄製が採用されていたが、低コスト化や軽量化を目的とした樹脂化（PP、CFRP）の開発を行う事とする

開発の概要

既に鉄製から樹脂化への動きは始まっているが、鉄と同等の強度と電磁波ノイズを防ぐ目的で大型化している傾向である。また、樹脂化に伴いコンタミも問題視されているが、コンタミを防止するという観点においても、CFRPは他の樹脂と比較して優位であり、あらゆる課題を解決し得る材料といえる。

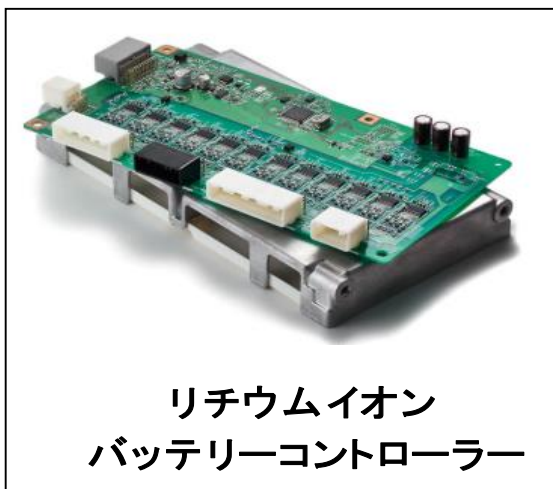
特長

各材質の特徴比較

	鉄	PBT	PP	CFRP
厚さ（単位：mm）	0.8	1.5	2	1
重量（単位：g）	220	104	108	68
比重	7.8	1.55	0.9	1.38
引張り強さ（単位：MPa）	270	145	41	550
体積抵抗率(Ωcm)	10^{-7}	10^{16}	10^{16}	10^{-5}

用途

リチウムイオンバッテリー筐体



お問い合わせ先

【所在地】 〒358-0032 埼玉県入間市狭山台4-15-10

【連絡先】 TEL 042-934-3161 FAX 042-934-3146 営業部 名武

[日新化工株式会社*会社案内*](http://nissinkakou.co.jp) (nissinkakou.co.jp)

